

工事写真報告書

工事番号 平成 29 年度

工事名 S 様 邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事

工事住所 北九州市 小倉南区

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



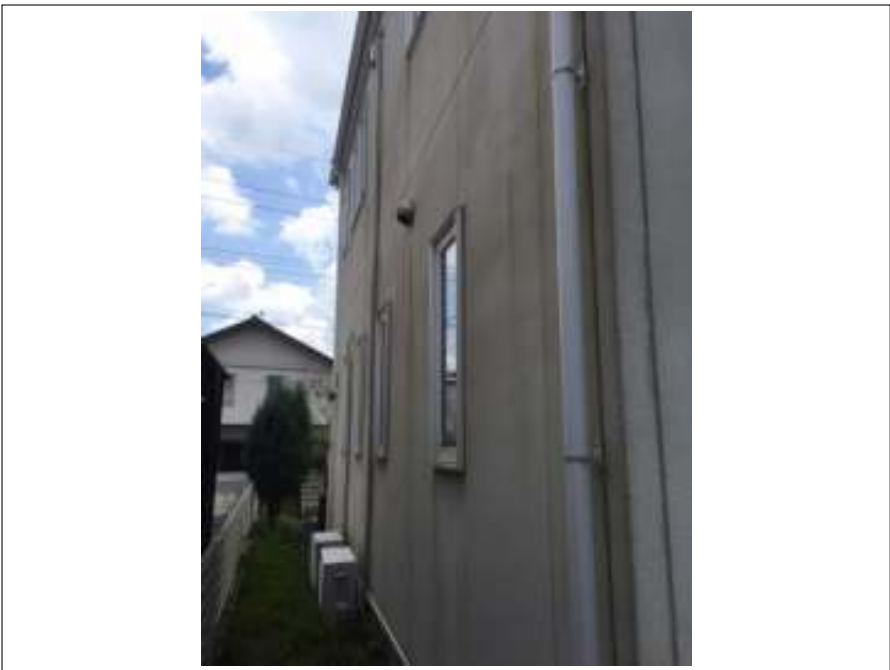
外観



外観



外観



外観



軒天

経年劣化しております。
この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



破風板

経年劣化しています。
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつ
ながりますので、下塗り・上塗り
をおこないます。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすることが
ありますので、塩ビ専用の下塗り
をおこない塗装をしていきます。



樋・ダクトカバー



木製枠

この部分も塗装をしていきます。



シャッター

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



シャッター

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



土台水切り

同上



塀

地面から水や湿気を吸いはき出す部分になり、この部分に耐久性の高い塗装や膜を張る塗装をおこなうと、膨れる恐れがありますので、通気性の良い塀の塗装をおこないます。



塀

同上



塀

同上



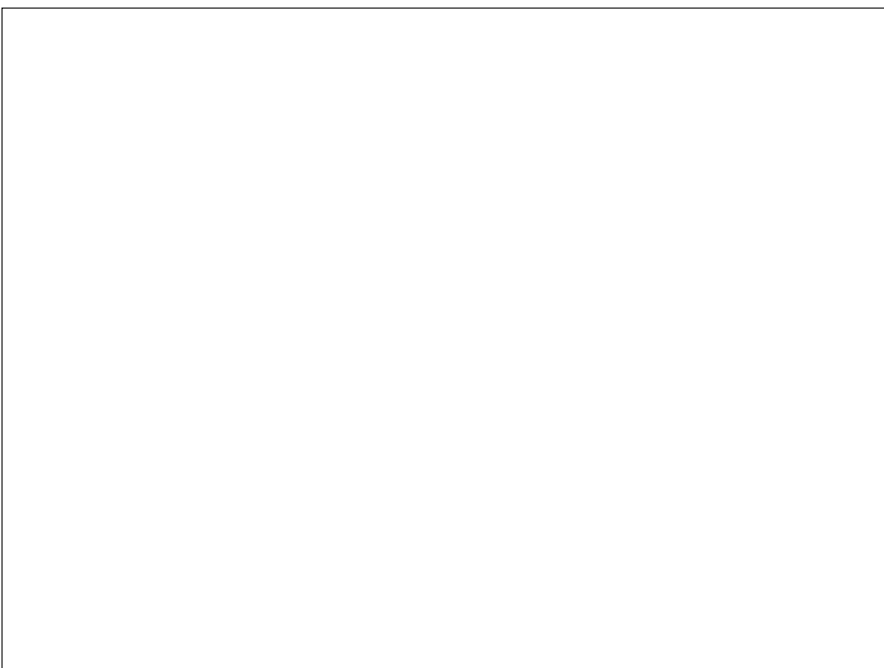
塀 _____

同上 _____



塀 _____

同上 _____





外壁 劣化部

外壁の塗膜表面が劣化しております。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 劣化部

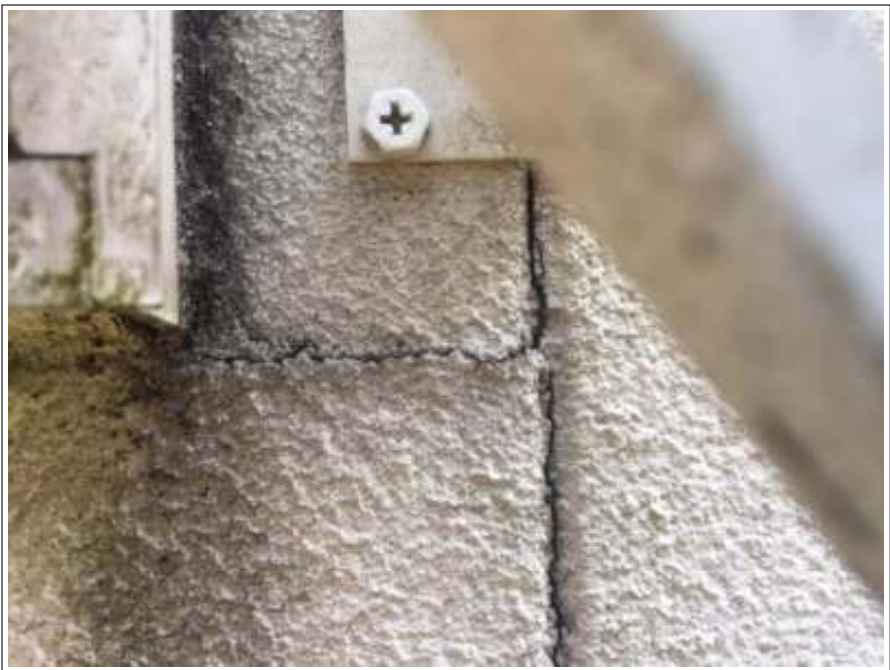
旧塗膜の浮きが見られます。
このまま塗装をしても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜は除去し塗装をしていきます。



外壁 劣化部

同上

※仕上りの差が出る可能性があります



外壁 クラック部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・外壁の痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修をおこない塗装をしていきます。



目地 クラック部

同上



シーリング 劣化部

同上



カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にくら良い塗装をして
も、カビの根が残っている以上塗膜
を突き破って表面化してきますの
で、カビの根を抑える必要がありま
す。



カビ発生部

対処方法

いくら高圧洗浄をかけても、カビの
根が残ってしまいますので、カビの
根を殺す防カビ下塗りをおこない、
下塗り・上塗り二回の三層四工程を
おこないます。



水切り カビ発生部

同上



塀 カビ発生部

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

